

起業サークルFIRPEN

起業サークルFIRPENとは

起業サークルFIRPEN(ファーペン)は「地方大学生のための起業家輩出のプラットフォームを築く」を理念に学生有志で2020年10月に設立。サークル名であるFIRPENはペンギンの群れの中から天敵がいるかもしれない氷河の中に果敢に飛び込む「ファーストペンギン」を由来にしている。地方からベンチャー精神あふれる学生を輩出するサークルにしたいと考え、この名前を採用した。サークルの具体的な活動目標は3つある。1つ目は地元企業との連携。地元の企業について知ること、地域貢献することを大切にしている。2つ目は学生とのネットワークの構築。学部や大学の垣根を越えた学生との出会いは多角的な視点からの情報交換にも繋がるため、積極的に学生間の交流を図っている。3つ目は学びを実践へ。実践的な活動を通し、大学での学びを確実なものにしている。

現在の活動

現在、院生1人、4年生4人、3年生1人、2年生1人、1年生5人の計12人で活動している。サークル活動での主軸は2本ある。ひとつは事業班だ。「起業」がゴールではない。所属することで起業を身近に感じ、ひとつの選択肢となるように視野を広げることが本サークルの意義のひとつである。事業班では地元企業とのタイアップ事業を通し、学びを実践している。もうひとつはビジコン班である。日々、自分たちの持っているビジネスアイデアをメンバーと共に磨き上げて、ビジネスコンテストに

チャレンジしている。以下2つの主軸の実績を紹介する。

実績

●地元企業とのタイアップ事業

2021年1月に長崎県松浦市でオーダーメイドスーツの生産・販売をしているエミネントスラックス社とタイアップして、学内でオーダーメイドスーツの採寸会を2日間実施した。実施にあたり、採寸会のマーケティングや学生向けポスター、チラシの作成を行なった。さらに採寸会実施後、データの収集・分析を行うことで次回開催に繋げている。

続いて、2021年7月には、同社と「KIREHASHIビジネスコンテスト」を開催し、スラックス製作時に出てしまう切れ端を活用したビジネスアイデアを募集した。ビジネスプランの考察と共に、廃材の活用といったSDGsの視点を身につけて欲しいという目的により開催したもので、テレビ・新聞などのメディアへのPRが功を奏して、県内の高校生や大学生など約60名から応募が集まった。



写真1 エミネントスラックス社工場見学の様子



写真2 起業家の方との対談の様子

●ビジネスプランコンテスト

ビジネスプランコンテストに応募する前にサークル内でもコンテストを開催している。FIRPENのアドバイザーであるウルトラエックス社の服部達也社長、ワンプルーフ社の平山和泉社長、佐世保工業高等専門学校の入江英也准教授(ユウシステム社社長)など、起業に成功した経営者の目線で様々な助言を頂き、ビジネスプランをブラッシュアップしている。

2021年3月に開催された「西九州させば広域都市圏ビジネスプランコンテスト(START UP 99)」では、本サークルの河野更紗(大久保文博ゼミナール3年ゼミ長)が西海みずき信用組合賞を受賞した。このプランは「実家からの仕送り」の考えを基に、長崎県に御縁がある県外の方々を対象とした長崎県産品の直送販売である。最近話題の「おさかなサブスク」の発想に近い。在庫過多や賞味期限間近のものを販売することで、

フードロスの解消を図るアイデアである。起業を目指す他メンバーもビジネスプランコンテストに果敢に挑戦している。

FIRPENの存在意義

昨今、日本ではサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムであるSociety 5.0(ソサエティ5.0)が推し進められ、さらにデータとデジタル技術の活用で変革を行うなどのデジタルトランスフォーメーション(DX)が推奨されている。横文字が飛び交い、社会から取り残されてしまいそうだ。しかし、こんな目まぐるしい時代であっても、新たな流れに向き合う必要があるのだろう。温故知新の考え方で、「古き良き」を残しつつ、若者なりの新たなアイデア、テクノロジーで山積する様々な社会課題、地域課題の解決に貢献したい。そんな思い、役割にFIRPENの存在意義がある。

参考情報

FIRPENでは日々の活動を公式SNSなどで発信しています。



【執筆者略歴】

長崎県立大学 経営学部 国際経営学科 4年
たかはしももこ
高橋百子

愛媛県西条市出身。大久保文博ゼミナール(東南アジアビジネス研究室)4年ゼミ長。「地方大学生の為の起業家輩出のプラットフォーム」を築くために2020年10月、起業サークルFIRPEN(ファーベン)をゼミ生と共に設立。文部科学省「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム(第14期)」採用。現在、FIRPEN初代共同代表。



長崎県立大学 経営学部 経営学科 1年
つるやま
鶴山すみれ

長崎県西海市出身。中学生で青年海外協力隊に関心を持ち、誰かのためになる活動を志す。高校時代は英語のディベート大会に出場、長崎県の総合文化祭写真部門で優秀賞を受賞。大学では地域の方々と温かい繋がりを築いて地域活性化を行うべく、2021年4月にFIRPENに入部。旺盛な好奇心、行動力を生かして自己実現に向けて邁進中。現在はFIRPENの広報担当。
問合せ先 | 1002firstpenguin@gmail.com(高橋、鶴山)

